

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	放射線診断に伴うヒト血清成分の変動に関する基礎研究		
2. 対象患者	高度救命救急センター搬送患者で放射線を用いた検査を行った患者様		
3. 対象となる期間	令和3年 承認日 ~ 令和5年 3 月 31 日		
4. 実施診療科等	高度救命救急センター		
5. 研究責任者	氏名	柏倉 幾郎	所属 大学院保健学研究科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	<p>診断や検査等で用いられる低線量放射線が血液中の各種成分などに及ぼす影響やその健康被害には、依然として多くの不明な点が存在します。近年、タンパク質や代謝産物の解析技術が飛躍的に向上したことで、ごく少量の血液で多くの情報を得ることが可能となりました。我々のこれまでの基礎研究で、低線量の放射線であっても血液成分に変化が起こることを新たに見出しております。従って、本研究により、放射線検査に伴う血清成分の変動に新たな知見が得られれば、これまで困難とされてきた低線量放射線被ばくによる生体応答を評価する、新たな『バイオマーカー』となり得る可能性が期待されます。</p>		
8. 研究の目的	<p>コンピューター断層撮影(CT)による検査に伴う血清成分の変動や代謝産物への影響を網羅的に解析し、低線量放射線被ばくによる生体影響とそのリスクを明らかにすることを目的とします。</p>		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	<p>本研究は、共同研究者である医学部附属病院高度救命救急センター・副センター長・伊藤勝博医師の判断・指示のもと、同センターに搬送された多発性外傷の患者様に対する医療措置の過程でCT検査を3回以上行い、診断・治療前後に採血が実施された血液の余剰分の供与を受けます。採取は全て同センターの採血プロトコールで実施されるため、対象となる方々に危険が生じることはありません。</p> <p>本課題での主要検討項目としては、供与された血液から遠心分離法にて血清を回収し、その一部を用いて成分解析や代謝産物解析、さらには特異抗体との応答性の検証を計画しております。また、伊藤医師の指示のもと、院内医療情報から各種解析結果との関連性の検証に必要な情報を抜粋して取得いたしますが、患者様の氏名やカルテ番号、病理検体番号等の個人を特定できるような情報を用いることはございません。データについては細心の注意を払い厳重に管理し、本研究以外に利用することはありません。</p> <p>本研究は、既存の試料・情報のみを用いる研究であることから、患者様及びそのご家族様へのインフォームド・コンセントの取得は省略いたしますが、研究の内容について医学部附属病院のホームページに情報を公開し、患者様(もしくはそのご家族様)からの拒否の申し出を受け付けます。なお、本研究に関して問合せ或いはクレーム等がある場合には下記の連絡担当者にお申し出ください。その場合は、お申し出のあった方を研究対象から除外いたします。</p>		
10. 個人情報の保護	個人情報は特定されず保護されます。		
11. 利益相反に関する状況	利益相反はありません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院保健学研究科・柏倉幾郎		
	電話	0172-39-5938	FAX 0172-39-5938